

好転の兆し

～米国ではISMが50割れを回避し、日本では消費が上向く～

2015年10月2日(金)

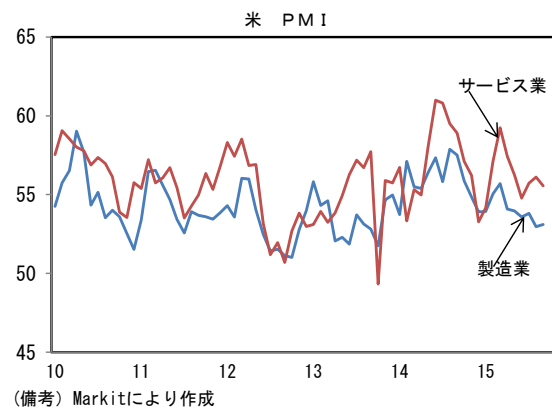
第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 藤代 宏一

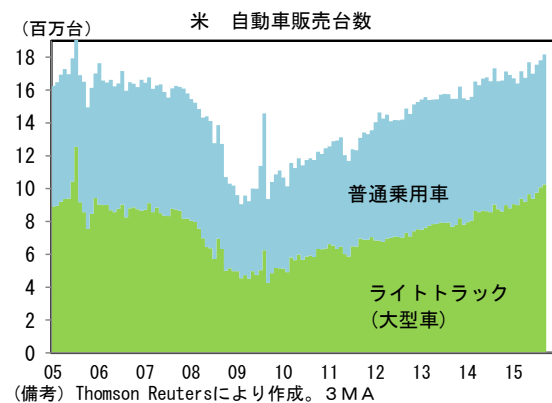
TEL 03-5221-4523

【海外経済指標他】～消費者信頼感：ポジティブサプライズ～

- ・ 9月ISM製造業景況指数は50.2と市場予想(50.6)を下回り、2013年5月以来の低水準に落ち込んだ。生産(53.6→51.8)、新規受注(51.7→50.1)、雇用(51.2→50.5)が何れも軟化し、入荷遅延(51.2→50.2)も下押しに寄与。他方、在庫(48.5)は50割れが続いた。原油安・USD高の悪影響を裏付ける内容で製造業セクターの苦境を示す結果だが、市場ではISMの50割れが危惧されていたので、それを回避できたという点ではポジティブだ。50.2という数字は50割れを0.3pt上回るに過ぎないが、市場参加者の印象は随分異なるだろう。なお、Markit版PMIは53.1と速報値から0.1pt上方修正された。



- ・ 9月自動車販売台数(季節調整済み年換算)は1807万台とポジティブサプライズ。ライトトラック(SUVなど大型車)が1026万台と2ヶ月連続の大台超えを記録、普通自動車も791万台と堅調な推移となった。大型車人気の一部は原油価格下落の追い風を受けたものだが、本質的には消費者が高額消費に前向きであることを反映したものと思われる。

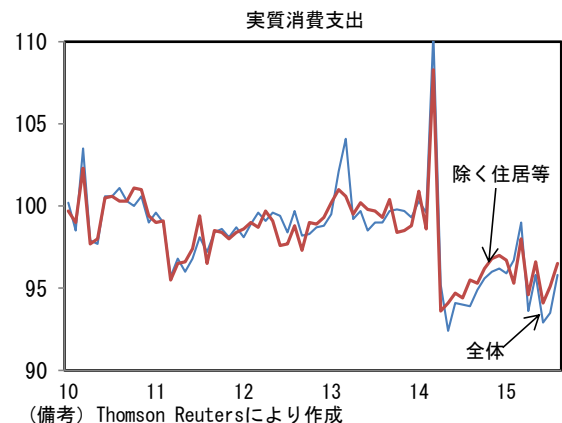
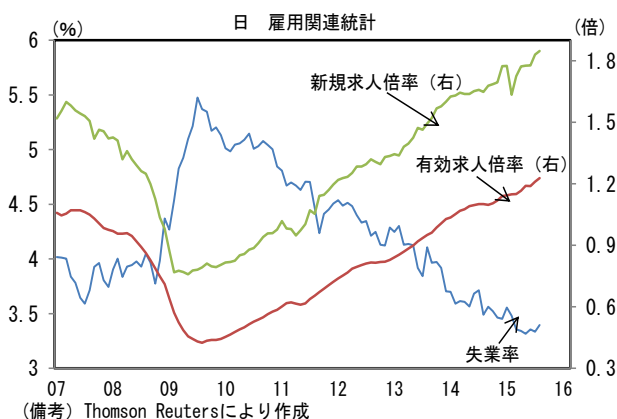


【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】

- ・前日の米国株は区々。NYダウが横ばいとなった一方、S&P500は続伸。ISMが嫌気されて一時200ドル超下落する場面もあったが、値ごろ感も意識され、押し目買いに支えられた。欧州株は強くラリーして寄り付いたものの、米国時間入り後に失速。
- ・前日のG10通貨はEUR、JPY、GBPがいずれも小動きとなり、USDの強さは中位程度。USD/JPYは120近傍でナローレンジ、EUR/USDは1.15後半から1.12付近で一進一退。
- ・前日の米10年金利は2.037% (▲0.0bp) で引け。アジア時間は日本株が上昇する下で米債は軟調に推移したが、その後は欧州債ラリーに追随したほか、ISMが軟調で当初の金利上昇を帳消しにした。欧州債市場は総じて堅調。独10年金利は0.536% (▲5.1bp) で引け、イタリア (1.682%、▲4.3bp)、スペイン債 (1.818%、▲7.4bp) も大幅に金利低下。対独スプレッドはタイトニング。

【国内株式市場・経済指標他、注目点】

- ・日本株は過去2営業日の反動もあり、小幅下落して寄り付いた後、もみ合い。
- ・8月失業率は3.4%と7月から0.1pt上昇。失業者数 (+4万人) が僅かに増加した一方、就業者数 (▲3万人) が僅かに減少、労働参加率は不変だった。7月との比較では改善が一服した格好だが、それでも労働需給が引き締まっていることに変わりはなく悲観的要素に乏しい。他方、求人関連指標は改善が続いた。有効求人倍率が1.23、新規求人倍率が1.85とそれぞれ今次サイクルの最高を更新して1990年代前半の水準を回復。雇用・景気の先行指標として注目される新規求人数は前月比+1.1% (87.9万人) と増加した。日銀短観の雇用判断DI (不足超拡大) が示唆していたとおりの内容で、企業が雇用の不足感を解消すべく採用活動を積極化している様子が窺える。GDPは2四半期連続のマイナス成長が危惧されるものの、雇用・所得環境の改善が続いている限り内需の底堅さは維持されるので、それは在庫循環による一時的なものに留まるだろう。景気の底割れは回避される見込み。
- ・8月実質消費支出は前月比+2.5%、前年比+2.9%と市場予想を上回った。自動車購入が前年比+24.8%とサンプルバイアスに起因する急増で押し上げられたが、自動車・住居費など振れの大きい項目を除いたコアベースでも前月比+1.5%、前年比+1.9%と増加しており、久方ぶりにモメンタムが好転している。雇用・所得環境が緩やかに持ち直すなか、ガソリン価格下落が追い風となった模様。9月もシルバーウィーク効果 (5連休&好天) により、まずまずの結果が期待できる。
- ・8月豪小売売上高は前月比+0.4%と市場予想に一致して7月から反発。



<主要株価指数>

	終値	前日比
日経平均※	17725.98	3.56
N Y ダウ	16,272.01	-12.69
D A X (独)	9,509.25	-151.19
FTSE100 (英)	6,072.47	10.86
CAC40 (仏)	4,426.54	-28.75

<外国為替>※

USD/JPY	119.98	0.05
EUR/USD	1.1189	-0.00

<長期金利>※

日本	0.333 %	0.008 %
米国	2.037 %	0.000 %
英国	1.742 %	-0.020 %
ドイツ	0.536 %	-0.051 %
フランス	0.929 %	-0.056 %
イタリア	1.682 %	-0.043 %
スペイン	1.818 %	-0.074 %

<商品>

N Y 原油	44.74 ^{ドル}	-0.35 ^{ドル}
N Y 金	1114.20 ^{ドル}	-1.30 ^{ドル}

※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。

(出所) Bloomberg

